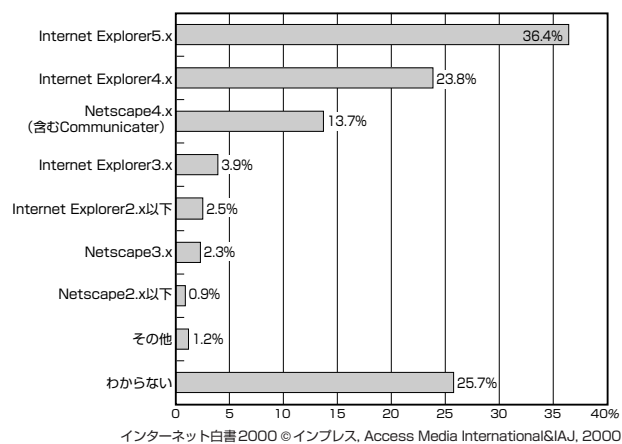


第2章 個人

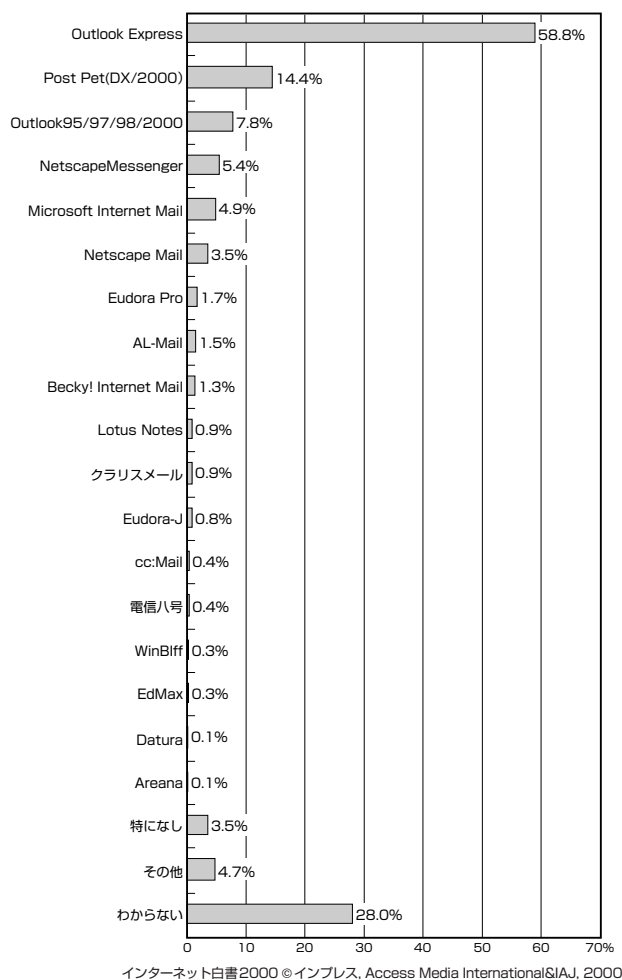
利用ソフト

58.8%がOutlook Express

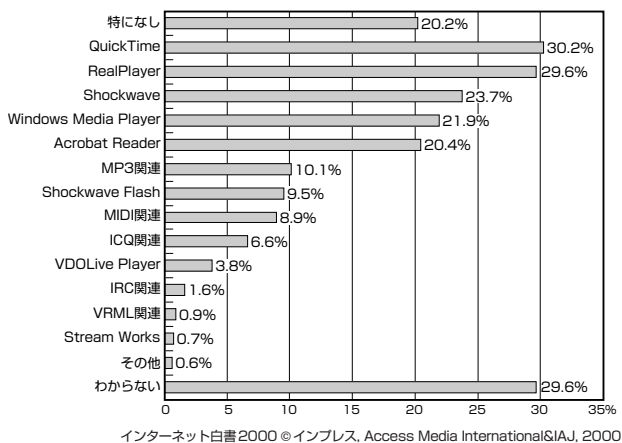
資料1-2-38 利用ブラウザ（複数回答） N=1610



資料1-2-39 利用メールソフト（複数回答） N=1666



資料1-2-40 利用アプリケーションソフト N=1666



解説

主に利用しているブラウザの1位、2位はいずれもマイクロソフト社の「Internet Explorer」で両者を合わせると60.2%を占める（資料1-2-38）。昨年の59.3%と比較すると、それほど伸びていないように見えるが、複数使用率が昨年の124.9%から今年は110.3%に減少しており、併用が減った分、実質的な利用シェアが拡大したとみるべきである。

また、ブラウザのブランド（ソフト名）を意識していないとみられる「わからない」が昨年の4.1%から25.7%に大幅に増えていることも今年の特徴である。

最も利用頻度が高いとみられるメールソフトに関しては無償の「Outlook Express」が昨年に続き1位を獲得（58.8%）し、過半数を占める（資料1-2-39）。昨年6位だった「Post Pet (DX/2000)」が今年は2位に食い込み14.4%を占める。一方ブラウザにおけ

る「Netscape」のシェアが減少したことを反映して「Netscape Messenger」は11.8%から5.4%に比率を落としている。インターネット利用者の裾野が広がることで増加したエンタリー層にとって、わざわざ自分でインストールやダウンロードする手間がからないマイクロソフト製品が有利な状況にあることは間違いないといえよう。

利用アプリケーションは毎年新しいソフトが次々に登場するが、その中では「Quick Time」、「Real Player」、「Shockwave」の上位3者は堅調である。4位には「Windows Media Player」が初登場し、「Acrobat Reader」を抑えている（資料1-2-40）。エンタリー層が増えたことで、利用アプリケーションにおいても「特になし」（20.2%）や「わからない」（29.6%）が増加している。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp